

春日山原始林の気象観測（中間報告 3）

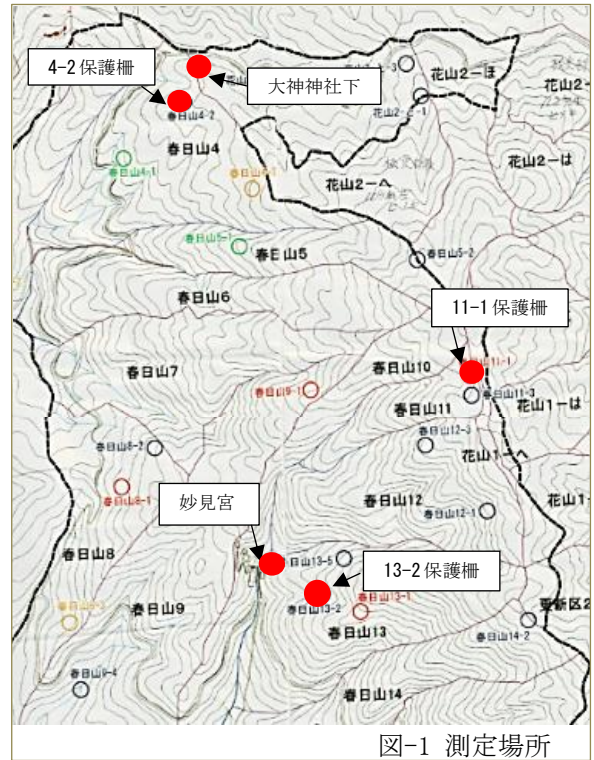
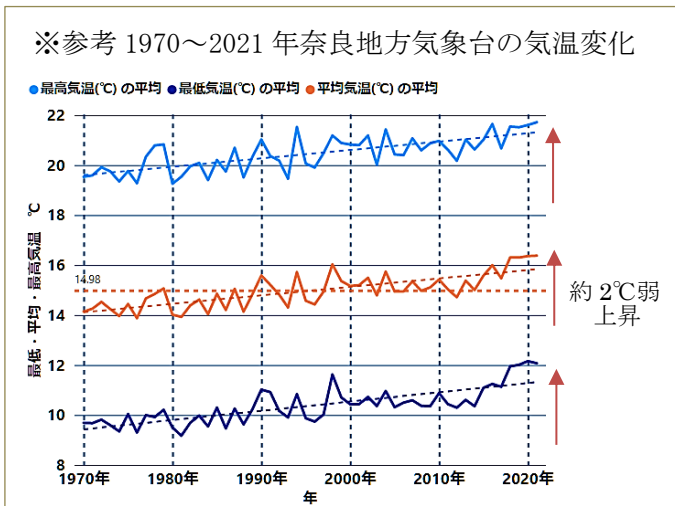
2022年6月8日 春日山原始林を未来へつなぐ会 温湿度チーム

1. はじめに 春日山原始林を取り巻く環境を考える一助として、照葉樹の森に大きな影響を与えている『気温と湿度』を測定している。今回は「過去の気温測定との比較」「春日山原始林の多面的な働き」を取り上げてみる。

2. 測定について

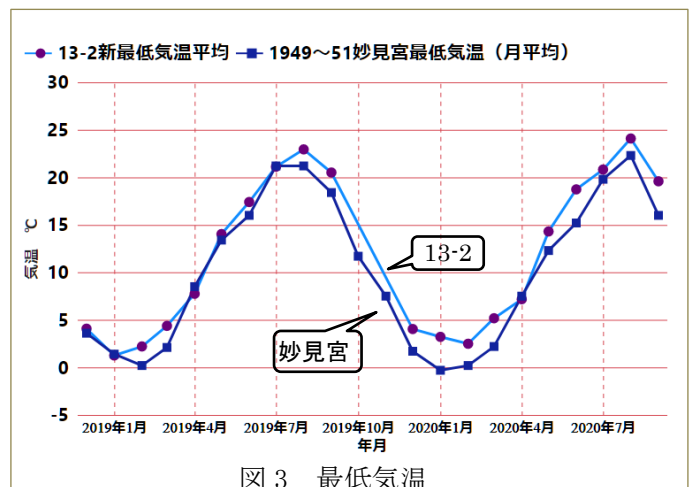
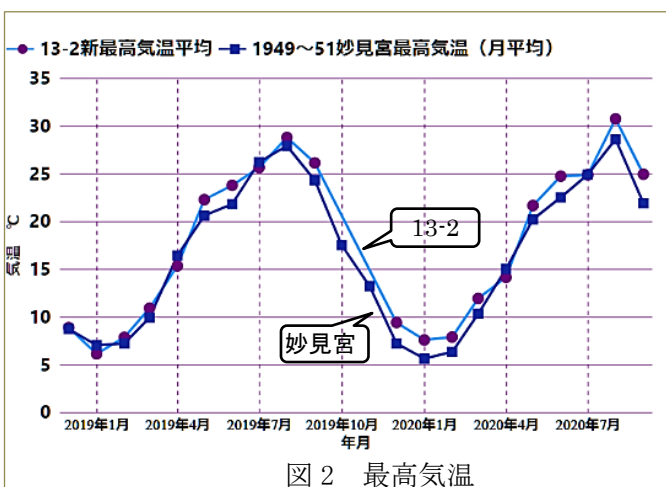
- ・ 測定場所は3地点（図-1）
- ・ 参考資料（奈良地方気象台の気温変化）

（下図）



3. 過去の気温測定との比較

1) 約70年前との比較 1949年12月～1951年9月の妙見宮(標高約275m)の気温 vs. 2018年12月～2020年9月の13-2保護柵(標高約310m)の気温



13-2 保護柵は西面の谷斜面に、妙見宮は南面した谷筋の上部に位置する。13-2 保護柵は70年前の妙見宮に比べ最高・最低気温共に高い傾向がある。標高差から見て逆転している。70年前は林内も低温であったか。現在と過去の環境の違い等も考慮する必要がある。

2) 約 50 年前との比較 1973 年 8 月～1974 年 7 月の大神神社下(標高約 325m)の気温
vs. 2020 年 8 月～2021 年 7 月の 4-2 保護柵(標高約 340m)の気温

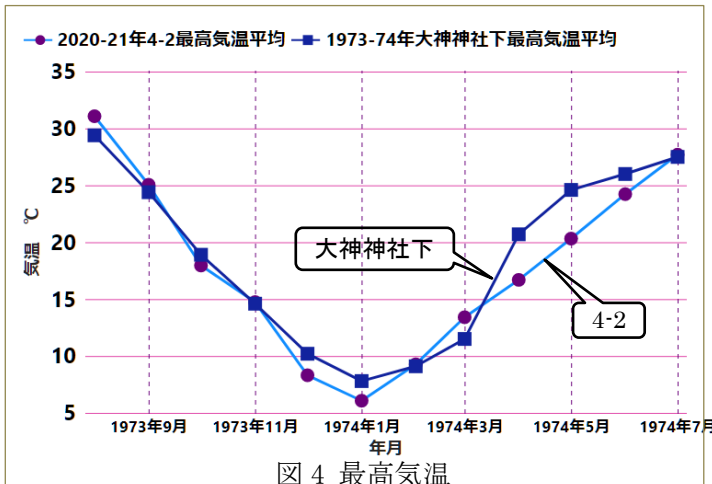


図 4 最高気温

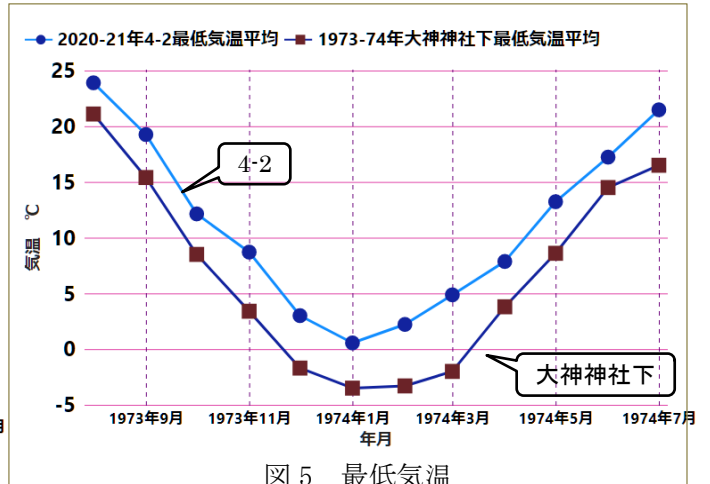
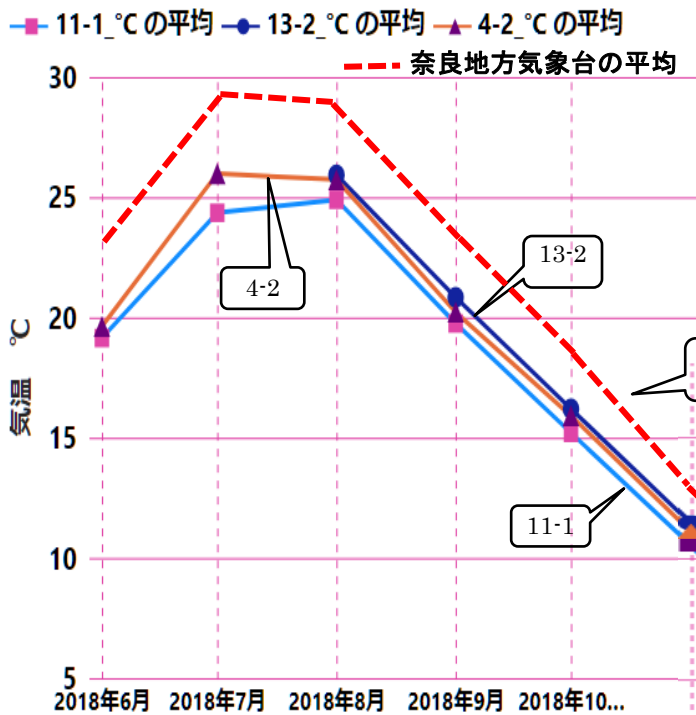


図 5 最低気温

4-2 保護柵は約 50 年前の大神神社下に比べ最高気温は低い傾向にあるが最低気温は全年に亘って高い。標高はほぼ同じである。これも地形の状況、過去と現在の環境の違いが影響しているのではないかと。

3. 3 か所の保護柵の気温と奈良地方気象台の気温から

(2018 年 6 月～2019 年 5 月)



Let's 考察

- 気温を緩和する森の多面的な働きは？
- アカガシの分布域の気温は？

4-2 (340m/コジイ林)

11-1 (470m/ツガ-アカガシ・ウラジコガシ林)

13-2 (310m/コジイ-ウラジコガシ・ツバネナシ林)

4. 最後に 気温を継続的に測定すると気温に影響を与える環境や気温の傾向の変化でその要因について考えることができる。

今後も 測定データから原始林の自然をさぐり、保全に活かしていきたい。

参考文献/永田史郎：奈良春日山原始林を中心とした微気象観測 奈良学芸大学紀要、1952
 永田史郎：奈良春日山原始林内の気象観測 奈良県文化財調査報告書第 22 集
 □特別天然記念物 春日山原始林緊急調査報告書 1974
 奈良県：春日山原始林保全検討委員会資料 春日山原始林の植生区分